

第11回 そけいヘルニア 再発の手術と 特殊なヘルニア

Dr. 村田の
HGS!
(日帰り・外科・手術)

むらた日帰り外科クリニックでは、当院以外でそけいヘルニア手術を受けられた患者さんの再発手術を日帰り手術で行っています。再発は、患部を覆ったメッシュのずれや覆いきれなかった隙間から弱い筋幕が出てきて、患部周辺にふくらみが再度出てくることで気がつきます。加齢、生活習慣、ハードな力仕事などで、弱っている箇所に負担がかかってしまうことも要因です。特に痛みがある場合は再発の可能性が大きいので、早めの手術が必要になってきます。再発の処置には慎重な判断と熟練した高度な技術が必要です。先の医療機関での手術の際のメッシュの使用有無など手術の内容をしっかりと確認し、そのうえで方向性を決定します。患部の範囲を正確に確実にメッシュで覆うことにより、その後再発に至らない日帰り手術を行っています。そけいヘルニアの再発率は、従来の筋肉を縫い合わせる手術では10%程、現在のメッシュ（人工補強材）を使用する手術法では1%以下になっていますが、当院ではこれまで再発に至った症例はありません。

また、押しても腸がもどらない、または突出する際に痛みがでる特殊なヘルニアのかんとん症例には、さいヘルニア（でべそ）、大腿ヘルニア、手術の際にできる小さい腹壁はんこうヘルニア（術後の傷口から腸がでてくる状態）などがあります。そのような症状にも、条件が適えば日帰り外科手術を行っています。

再発は過度な腹筋運動なども関係してきます。特に再発した場合はなるべくおなかに力を入れない生活を送ることと、運動はウォーキングなどの有酸素運動をおすすめします。

そけいヘルニア Q&A

Q 足の付け根が腫れてますが、そけいヘルニアですか。

A その可能性はありますが、必ずしもヘルニアとは限りません。そけい部のリンパ節が腫れている場合もあります。判断がむずかしいこともありますから、症状の種類など関係なくお気軽に来院ください。



再発は1ヶ月後、または1年後に発症することもありますから、必要以上の力をおなかにいれないように心がけてください。筋幕が弱い方は反対側にも発生する確率も高くなります。便秘、咳、くしゃみなどにも気をつけてください。喫煙は組織をもろくさせるのでリスクがあります。



在宅医療チームのみなさん。診察、在宅ケア、薬、栄養など、患者さんにご家族の方々の心身をチームワークで支援。